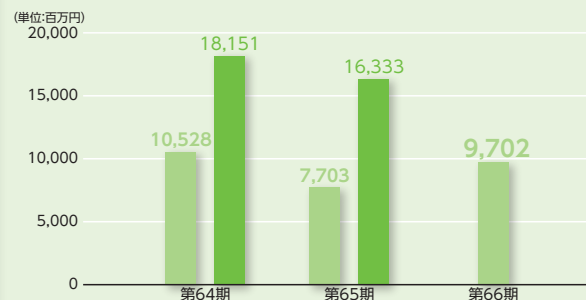


## 決算ハイライト

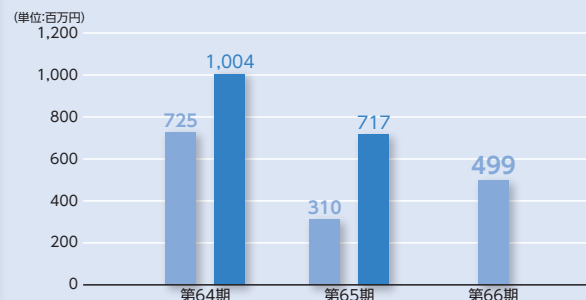
Financial Highlights

### 売上高



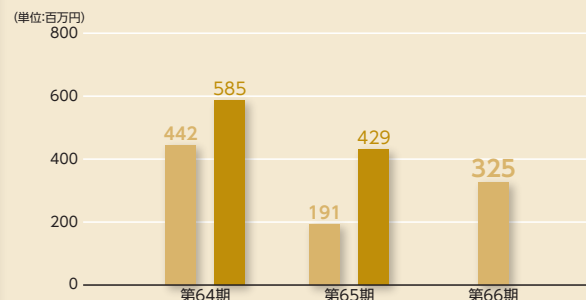
97億2百万円

### 経常利益



4億99百万円

### 中間(当期)純利益



3億25百万円

## 会社の概要

Corporate Data

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業: 明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	198名 (男性: 137名 女性: 61名) (平成26年9月30日現在)

## 株主メモ

Shareholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="http://www.toba.co.jp/">http://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

# 第66期 中間報告書

Interim Business Report 2014 2014.4.1 ▶ 2014.9.30

先端技術で社会と産業の進化を支える



平成26年12月

代表取締役社長  
三浦 直行

TOBA 株式会社 鳥羽洋行  
証券コード: 7472

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、当社第66期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済を概観しますと、米国におきましては労働市場及び住宅市場の改善が進むとともに景気は回復基調を継続しました。欧州諸国では、地政学的リスクの台頭とユーロ圏における需要不足が露見するに伴い、景気の足取りは鈍くなってきております。また、中国を始めとするアジア諸国におきましても、タイの政情不安や中国におけるかつての成長路線の修正等により、景気は減速傾向を強めております。

一方、わが国経済におきましては、経済全体としては緩やかな回復基調にありますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が一段落したことで、個人消費は伸び悩んでおります。また、国内の設備投資需要を牽引してきた自動車・車載部品関係の製造業も国内販売が低調となるにつれ、設備投資を抑える動きとなり、期の後半に至るにつれ景気は不透明感を強めております。

このような環境の下で、当社は需要堅調なスマートフォン、タブレット端末向けの半導体や電子部品等に関連する得意先並びに海外での生産が好調な自動車、車載部品及び精密等の得意先に対して、省力化・自動化のための設備投資に必要なFA機器や制御機器を中心に販売を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、売上高は97億2百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益は4億6百万円(前年同期比64.9%増)、経常利益は4億99百万円(前年同期比61.0%増)、中間純利益は3億25百万円(前年同期比70.1%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**制御機器** 生産工場の構成には欠かせない

**売上高3,559百万円**

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、スマートフォン向けの需要が続く半導体・液晶製造装置、デジタル機器等の得意先からの空気圧機器及び継ぎ手等の需要が堅調であったことに加えて、物流装置メーカーからの制御機器の需要が増加したこと等により、制御機器全体の売上高は前年同期を上回る35億59百万円（前年同期比22.1%増）となりました。



**FA機器** 工場の自動化・コストダウンを実現

**売上高4,537百万円**

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、液晶、半導体製造装置に関連する得意先からの需要が好調であったことに加えて、複写機メーカーの海外子会社からのマウンターの大口需要があったことや、自動車・車載部品に関連する得意先の海外子会社向けに産業用ロボット及びプラズマ洗浄機の大口需要があったこと等により、FA機器全体の売上高は前年同期を大幅に上回る45億37百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

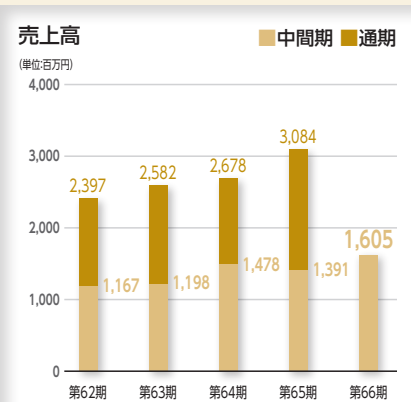


**産業機器** 生産組立て作業に使用されている

**売上高1,605百万円**

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、半導体関連の得意先からのアルミフレーム需要が好調に推移し、電動ドライバーやネジ締め機等も幅広い得意先からの需要が旺盛であったことに加えて、ろ過フィルターも寄与したこと等により、産業機器全体の売上高は前年同期を上回る16億5百万円（前年同期比15.4%増）となりました。



**JPCA Show 2014**

本年6月に東京ビッグサイトでJPCA Show 2014（第44回国際電子回路産業展）が開催されました。その中で当社は、NEXTAGE（ヒューマノイドロボット）が半導体プリント基板分割機〔株式会社オーロテック製〕を自動的に操作するという先端的な技術を紹介し、大変ご好評をいただきました。

